

低濃度 PCB 含有絶縁油第 2 回焼却実証試験実施 環境省



The Knights

環境省は平成 19 年 2 月に、全国 5 か所の産業廃棄物処理施設・溶融施設の協力を得て、低濃度 PCB 汚染物の第 2 回焼却実証試験を開始しています。

PCB を使用していないとされている変圧器(トランス)の中に、実際には低濃度 PCB に汚染された絶縁油が含まれているケースが数多くあることが判明しているため、これらの低濃度 PCB 汚染絶縁油の処理体制整備が現在の課題となっています。環境省は 1,100℃以上の高温で焼却可能な既存産業廃棄物処理施設・溶融施設で、低濃度 PCB に汚染された絶縁油の処理が適正に実施できることを確認するために、18 年 3 月に実施された第 1 回実験に引き続き、今回の実験を実施しています。

実施場所は、光和精鉱(株)戸畑製造所(福岡県北九州市)、(株)カムテックス福山工場(広島県福山市)、(財)愛媛県廃棄物処理センター東予事業所(愛媛県新居浜市)、エコシステム秋田(株)(秋田県大館市)、(株)クレハ環境(福島県いわき市)で、実験期間は各施設 3 日程度とし、いずれも 2 月中の実施となります。

実験方法は、数 10ppm 程度の PCB を含む絶縁油、またはこの絶縁油が含浸した木くず・紙くずを各施設で焼却(燃焼ガスの温度 1,100℃以上、2 秒以上滞留)し、排ガス・排水中の PCB 濃度を分析します。

なお、平成 18 年 3 月に全国 3 か所の施設にて実施されました第 1 回燃焼実証試験においては、数 10ppm 程度の PCB を含む絶縁油を試験試料として用い、安全かつ確実に分解されることが確認されています。

当社では絶縁油中に含まれる PCB の分析を承っており、多くの実績を積んでおります。まずはお気軽にお問い合わせください。

資料 平成 19 年 1 月 29 日付 EIC ネット、
環境省 報道発表資料

環境分析箇所 堀井義則